

「全体最適」を実現し 生産性向上!!

第11期
中部地域開催
受講者募集

静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール

全18日間

開催期間

令和7年**8月22日**(金)~**11月21日**(金)

開催場所

講義: 静岡県産業経済会館 (静岡市葵区追手町44-1)
現場実習: 静岡県中部地域

受講対象

静岡県内中小企業(製造業)の現場リーダー(候補者含む)、役員

募集定員

18人※定員に到達次第締め切ります。

受講料

1人 **25万円**(税込)

主催

公益財団法人静岡県産業振興財団

現場実習受入企業の募集

スクール後半(10月23日~11月20日のうち9日間)
の現場実習を受け入れていただける企業を募集します。

※詳細は産業財団にお問い合わせください。



← 詳しくはHPをCheck!



公益財団法人
静岡県産業振興財団

正しい改善方法と人材育成により生産性向上！

人手不足、原材料高騰の中、製造業が生き残り、成長していくためには生産性の向上が不可欠ですが、その実現のためには正しい方法による改善活動とそれを担う人材が必要です。「静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール」では、経験豊富な講師陣の指導の元、リードタイムに着目した全体最適の考え方を学んでいただき、現場の改善活動を推進するリーダーとなる人材を育成します。

● 静岡ものづくりスクールの構成と活用の流れ

① 真に役立つ現場改善理論を体系的に学ぶ講義・演習

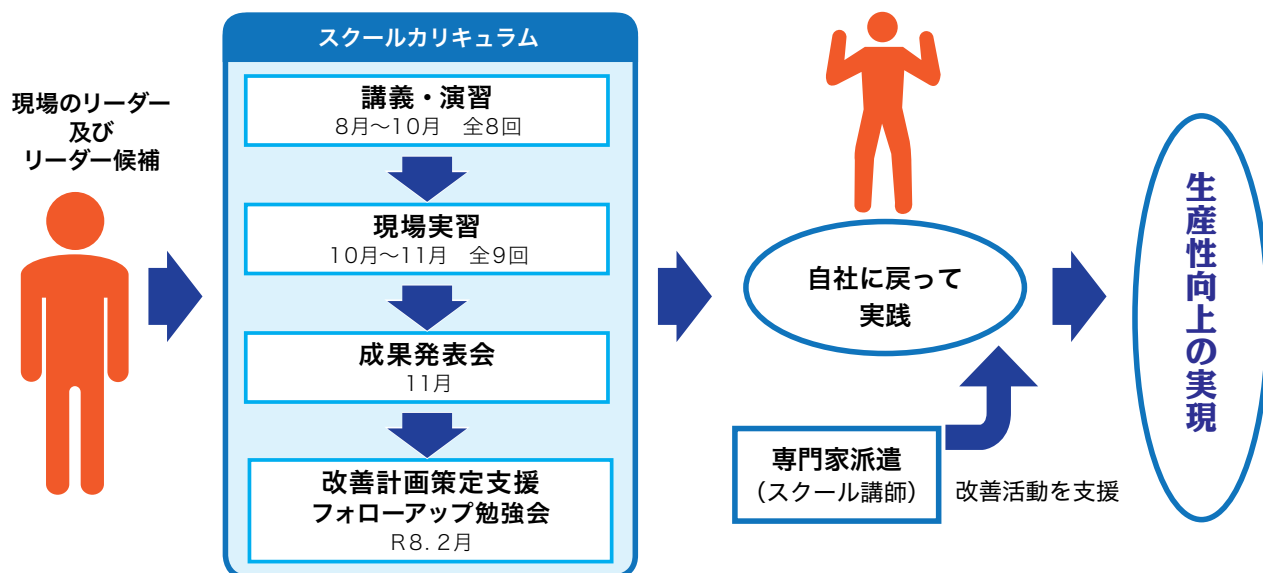
ものづくりの基礎概念から、生産計画、在庫管理、ネック工程改善、IoT、AI 活用まで、生産性の向上を実現する現場改善理論を講義・演習形式で体系的に学習します。

② 現場改善の実践力を養う現場実習

受講者でグループを組み、他社の実際の製造現場において、講義で学んだ現場改善の理論・方法に基づき課題発見、改善策の提案・試行等を行うことで、現場改善の実践力を身に付けます。

③ 改善活動の実践をサポートするアフターフォロー

講師陣による自社の改善計画策定の支援や、改善取組事例の共有化や修了者同士の情報交換の機会となる「フォローアップ勉強会」の開催や、必要に応じた専門家派遣など、スクール修了後も改善活動の実践を全力でサポートします。



● スクールの改善成果例

業 種	改 善 内 容	改 善 効 果
自動車部品製造	仕掛在庫削減 段取り短縮、工場レイアウト変更	・売上高 : 30%増加 ・キャッシュフロー : 2,000 万円改善
自動車部品製造	在庫削減 工場レイアウト変更	・完成品在庫 : 33%削減 ・生産リードタイム : 29%削減
産業機械部品製造	工程改善	・段取り時間 : 53%削減 ・生産回数 : 125%増加

● スクール修了者の声

スクール受講前は改善について漠然とした考えや知識しか持っていませんでしたがスクールを通して改善の手法、手順をしっかりと学習できた。現場実習では実際にデータや数字を使い根拠を示して改善案を提示できたので、自分の中で改善できるという自信に繋がった。(50代 食品製造業)

他社のメンバーと協力し目的に向かうことで、チームとして改善に取り組む貴重な経験ができた。講義で改善方法を学び実習で改善できるという自信を得られた。スクールで学んだことは製造業全てに活用出来る内容であると思う。(30代 産業機械部品製造業)

講義概要

日 程		講 義 名	講師	講 義 概 要
8月22日	金	1 ものづくり基礎概念	國方	「ものづくり」とは何かという基本を学び、近年なぜ従来型の部門別コストダウン方法が機能しなくなったのか、どのような活動を行えばそれが実現するのかを学びます。
		2 良い流れを作る現場の見方	仲田	“良い流れ”を実現するための考え方、現場の見方、改善の進め方のアウトラインを学びます。
8月29日	金	3 VSMの基礎	雨川	「VSM（バリュー・ストリーム・マップ）」とは何か、VSMを使うことで現場から何が見えてくるのかを学びます。
		4 VSM作成演習	雨川	VSMは現場実習で必ず作成することになるので、具体的な事例・演習を通して、VSM作成のスキルが身につくよう学びます。
9月5日	金	5 リードタイムを短縮する生産	山本	部品の組立を体験する中で、ロットサイズ別生産、一個流し生産などそれぞれの生産方式による在庫量、リードタイムの違いを体感します。また工程改善や作業改善の気づきを学びます。
		6 生産性向上	野毛	生産性とは何か、「リードタイム短縮」を実現することによる生産性向上のメリットについて学びます。
		7 7つのムダ・段取改善	野毛	ムダは付加価値を生みません。ムダを分類し、見つけ排除することで正味作業の割合を高め、生産性向上につなげます。リードタイム短縮のための段取り時間短縮についても学びます。
9月12日	金	8 5S・5定	飯田	現場改善の基本である5S・5定の必要性は分かっているが、なかなか定着しません。定着させるためのポイントについて、実例を示し、実践する上でのコツを学びます。
		9 日程管理	山本	設備や金型の製作、レイアウト変更など比較的長期間にわたる工程について、工程のつながりや所要時間、最も重要な工程経路など必要な情報を可視化し、進捗管理を行う方法を学びます。
		10 リードタイムを短縮する在庫管理	仲田	生産リードタイムに大きな影響を及ぼす「在庫」の功罪と管理の考え方を学びます。
		11 生産計画と平均化生産	仲田	生産量を一定に保ち、一定のタイミングで生産することで変動する需要に柔軟に対応し、リードタイム短縮を実現する平均化の考え方を学びます。
9月19日	金	12 グループテクノロジー	山本	加工工程や材料、設備機械・工具などを、形状や加工方法、管理方法などの類似性に基づいてグループに分類することで、共通項を活用して、リードタイム短縮を目指す手法を学びます。
		13 リードタイムを短縮するレイアウト	高橋	効率的な工場レイアウトは、リードタイム短縮に不可欠です。モノの流れや人の動線を考慮した効率的なレイアウト設計を改善事例等を通じて学びます。
		14 リーダー・リーダーシップ	須山	組織とは何かを再度共通認識しながら、現場リーダーの役割を明確にしていきます。また、リーダーシップとは何かを体験ワークを通じて学び、新しいリーダーシップのあり方を掴んでいただきます。
9月26日	金	15 ネック工程の改善手法	飯田	リードタイムを長くしている作業を見つけ、作業時間を短くする手法を学びます。
		16 時間分析	高橋	リードタイム短縮の第一歩は、現状の作業時間を正確に把握することです。ストップウォッチやビデオ分析で時間を測定し、ムダや停滞を特定します。また適切な生産のペースを決める「タクトタイム」を理解した上で、生産計画に役立つ手法を学びます。
		17 工程分析と作業改善	山本	モノの流れ、人の作業の流れを工程記号で表し、図表にすることで問題点を見つけるための分析手法と、工程改善、作業改善によるリードタイム短縮の着眼点を学びます。
10月3日	金	18 IoT、ロボット導入ポイントと導入事例	窪寺	ロボットに関する基本的知識、ロボット導入を成功させるための開発手順や必要な知識を学びます。またロボットやIoT導入に役立つ制御プログラム作成 実習を行い制御の基礎を学びます。
		19 AI・DX	杉本	昨今大きな話題になっている生成AIを実際に使ってみながらAIを使った現場改善を学びます。そしてDXに関する基本的な考え方の習得からDXツール類を学習し、自社VSMからDX化を進める方法を学びます。
10月10日	金	20 リードタイムを短縮する品質管理	小楠	リードタイムを短縮するには、「不良を作ってから検査」するのではなく、「不良を作らない」ように品質管理する事が重要であるため、その手法を学びます。
		21 改善後のVSM・現場実習事例	雨川	現状のVSMの兆候を把握した上で、改善目標を設定する。それを将来像に描き、改善していくことを学びます。
		22 現場実習の進め方	飯田	講義で学んだ考え方や手法を実際の現場でどう活かすのかを、身につけるために行う現場実習に入る前に進め方を確認します。

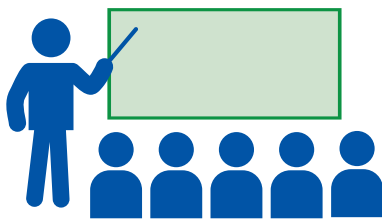


講座編成

区分	No.	実施日	曜日	1時限		2時限		昼休み	3時限		4時限		終了後
				9:00～10:40		10:50～12:30		12:30～13:20	13:20～15:00		15:10～16:50		
講義	1	8/22	金	-		11:00 開講式 来賓・講師紹介、 受講者自己紹介		昼休み	ものづくり基礎概念 【國方】		良い流れを作る 現場の見方 【仲田】		交流会
	2	8/29	金	VSMの基礎 【雨川】				昼休み	VSM作成演習 【雨川】				-
	3	9/5	金	リードタイムを短縮する生産 【山本】				昼休み	生産性向上 【野毛】		7つのムダ・段取改善 【野毛】		-
	4	9/12	金	5S・5定 【飯田】		日程管理 【山本】		昼休み	リードタイムを短縮する 在庫管理 【仲田】		生産計画と平均化生産 【仲田】		-
	5	9/19	金	グループテクノロジー 【山本】		リードタイムを短縮する レイアウト 【高橋】		昼休み	リーダー・リーダーシップ 【須山】		グループ発表 実習の取組方		-
	6	9/26	金	ネック工程の改善手法 【飯田】		時間分析 【高橋】		昼休み	工程分析と作業改善 【山本】				-
	7	10/3	金	IoT、ロボット導入ポイントと導入事例 【窪寺】				昼休み	AI・DX 【杉本】				-
	8	10/10	金	リードタイムを 短縮する品質管理 【小楠】		改善後のVSM・現場実習事例 【雨川】		昼休み	現場実習の進め方 【飯田】		現場実習準備 【全指導講師】		-
	-	10/17	金	【講義予備日】									

区分	No.	実施日	曜日	午前			昼休み	午後		終了後
現場実習	9	10/23	木	経営者との 打ち合わせ	実習現場見学	実習スケジュール 策定	昼休み	現場実習		-
	10	10/24	金	現場実習			昼休み	現場実習		-
	11	10/30	木	現場実習			昼休み	現場実習		-
	12	10/31	金	現場実習			昼休み	現場実習		-
	13	11/6	木	現場実習			昼休み	現場実習		-
	14	11/7	金	現場実習			昼休み	現場実習		-
	15	11/13	木	現場実習			昼休み	現場実習		-
	16	11/14	金	現場実習			昼休み	現場実習		-
	17	11/20	木	現場実習報告会			昼休み	現場実習報告会		-
発表	18	11/21	金	グループ成果発表会			昼休み	グループ成果発表会		修了式 交流会
修了後	-	令和8年 2/20	金	改善計画策定支援【当該年度修了者対象】			昼休み	フォローアップ勉強会【全年度修了者対象】		-

講師紹介



國方 優

株式会社日立製作所で約 30 年間にわたり、生産技術者として開発製品に関わる生産技術プロジェクトや新生産技術開発、新設備開発、新製造システム導入、他工場への技術指導等に携わる。部長職となった後は工場全体の設備投資審査と環境経営の推進も担当し、海外工場や主要協力工場への環境経営展開に携わる。2004 年より國方技術士事務所代表として、地域の中小企業を支援している。

ものづくりシニア塾 2期修了
静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール
(第1期～第5期)校長、(第6期～第10期)顧問
2025年度より本スクールアドバイザー



山本 操

ヤマハ発動機株式会社にて、生産管理課、生産技術課、製造技術室、海外生産本部等を経て、佐藤生産管理事務所にて中小企業の経営改善を経験し、現在は中小企業の経営改善及び生産性向上等の支援を行っている。

特定非営利活動法人IT静岡 監事
静岡産業大学総合研究所 客員研究員
中小企業診断士、ITコーディネータ
第2期 静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール修了



飯田 和幸

スズキ株式会社に 36 年間勤務。生産技術部門に配属され、四輪車の車体組立の生産技術を担当し、その後完成車組立、部品物流、工務管理の分野で、湖西、磐田、相良の国内生産工場に勤務、海外生産工場、製造関連子会社の工場管理にも携わり、2018 年定年退職。現在は、静岡県産業振興財団や MKN の改善活動に参加。

ものづくりシニア塾 7期修了
第5期 静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール修了



野毛 由文

株式会社リコーの化成品事業分野にて製品設計/生産準備/法人営業/品質保証に携わる。現在は、静岡県東部中部地区のものづくり中小企業向けに現場改善、業務改善、DX 推進の支援を行っている。

沼津市中小企業振興会議委員
ITコーディネータ
ものづくりシニア塾 9期修了
第8期 静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール修了



窪寺 恒二

部品製造会社に 35 年間勤務。新規製造ライン・新規設備開発に携わりながら改善業務や自動化、ロボット化に取り組む。令和 3 年ものづくりコンサルタントとして独立。企業の自動化、ロボット化支援に従事。企業毎のニーズに合った導入支援を行い多くの実績を上げている。

静岡県ふじのくにロボット技術アドバイザー
静岡商工会議所専門アドバイザー
第10期 静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール修了



雨川 智行

株式会社日立製作所に入社後、生産技術者として板金加工、溶接、塗装、組立関連の生産準備及び原価低減のための合理化設備の導入等に従事する。さらに、ブラジル、中国の海外生産工場へ出向し工場経営に携わる。帰国後、圧縮機製造部門の取り纏めとして国内はもとより、海外生産工場も含めて工場運営に従事すると共に現場改善業務にも携わり、生産性向上のための現場支援を行う。

第8期 静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール修了
2025年度より本スクール顧問



仲田 剛

パイオニア株式会社に 30 年間勤務。国内工場・本社にて、資材・購買、生産管理及び生産戦略含む事業計画立案に携わる。途中 5 年間の欧州生産現地法人パイオニア・フランスでは、責任者として工場経営にも携わる。その後 10 年間、NTT データとの合併企業で製造業分野(生産現場)システムソリューションの企画販売及び新規事業計画立案を推進する。現在は経営コンサルタントとして、主に中小製造業を対象に経営改善、現場改善他各種支援を行っている。

中小企業診断士
(一社)ものづくり改善ネットワークシニアインストラクター
ものづくりシニア塾 1期修了



小楠 貴宏

矢崎エナジーシステム株式会社にて約 10 年間、計量機器の開発設計業務に従事。その後、会計事務所を経て株式会社アイソコンサルティングの代表取締役役に就任。中小企業における事業再生に携わり、主に製造業における経営改善計画の作成、原価管理支援、現場改善支援の他、ISO9001 や IATF16949 などの品質マネジメントシステム構築の支援を行う。

中小企業診断士、一般計量士、ISO9001審査員補、ISO14001審査員補
第3期 静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール修了



高橋 義輝

中堅ゼネコンで 16 年間、営業、工務、新規事業開発に携わり、2 つの新規プロジェクトの立ち上げを行う。行政機関で起業および中小企業支援を行った後、自動車部品製造会社にて営業、生産管理、生産技術および海外事業部の管理に従事。工場内改善グループを立ち上げ、主に ICT を利用した改善により売上および営業利益 3 倍達成に貢献。現在、機械メーカーの役員と製造業の顧問を務める。

第2期 静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール修了



杉本 朋裕

静岡日本電気ソフトウェア株式会社に SE として入社。POS システム開発導入やデータ分析システム開発、BPM からの製造業の生産管理システム導入などに従事。NEC への出向時にはソリューション推進部のコンサルタントとして企業のシステムリプレイス(入れ替え)を推進。現在は独立し、「中小企業を DX でミライにつなげる」ことを目標に掲げ、中小企業支援をメインに事業展開をしている。

情報処理技術者システムアーキテクト
ITコーディネータ
第10期 静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール修了



須山 由佳子

(旧)三和銀行(現在の三菱 UFJ 銀行)退職後、地元企業の教育トレーナーとして活動を実施。その後、経営コンサルタント会社にて、教育コンサルタントとして活動を展開。平成 6 年に独立し有限会社キャリア・アップを設立。企業内の組織活性化のためのマネジメント研修・コミュニケーション研修・報連相研修を得意とする。研修登壇数は、2,000 回を超え、顧客満足度評価 90%を誇る企業研修講師として今に至る。

● 受講申し込みについて

申込方法

産業財団ホームページから、以下の必要書類をダウンロードいただき、電子メールでお申し込みください。

必要書類

- ・受講申込書
- ・職務経歴書

産業財団ホームページ

<http://www.ric-shizuoka.or.jp/mono/school.html>



募集締切

令和7年

7月18日(金)

※定員に到達次第
締め切ります。

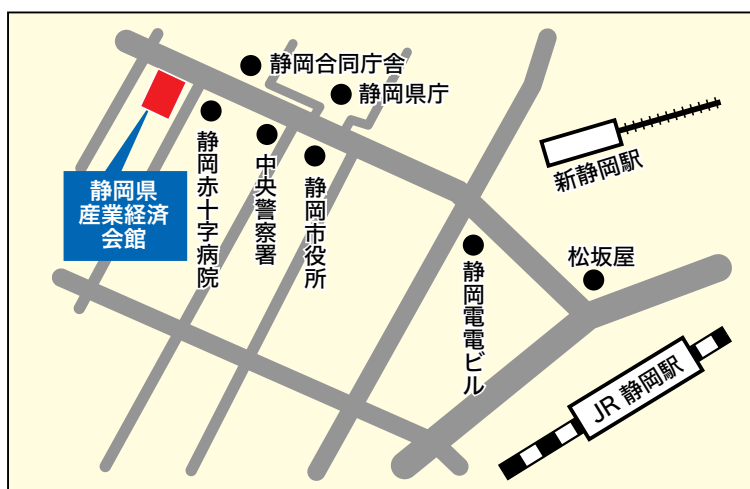
● 会場案内

静岡県産業経済会館 3階 会議室

静岡市葵区追手町 44-1

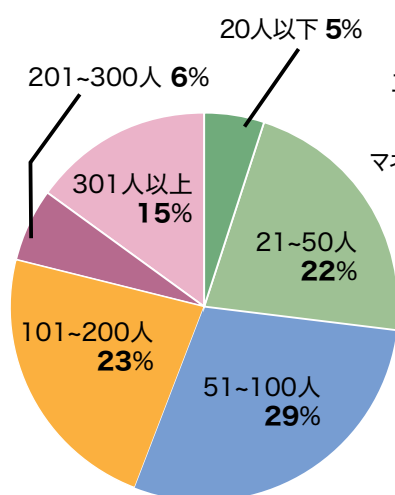
(JR 静岡駅より徒歩 15 分)

駐車場がないため、公共交通機関をご利用ください。

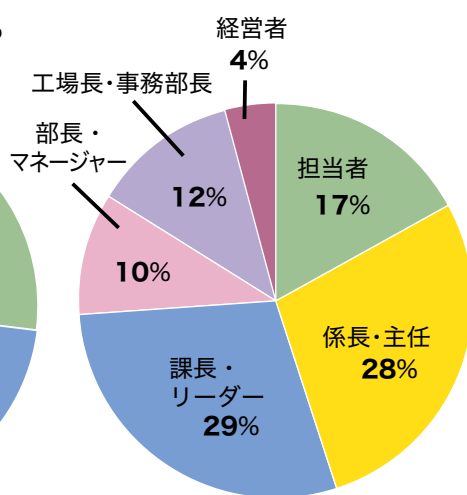


● 過去の受講者・現場実習先の状況

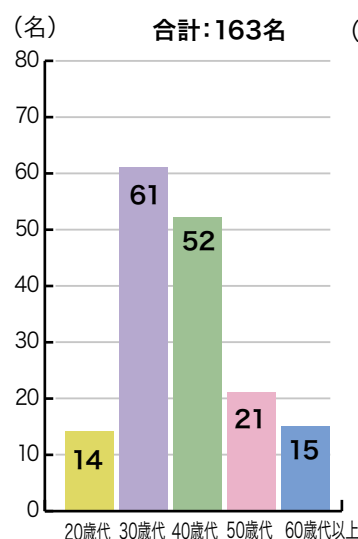
受講者所属企業の従業員規模



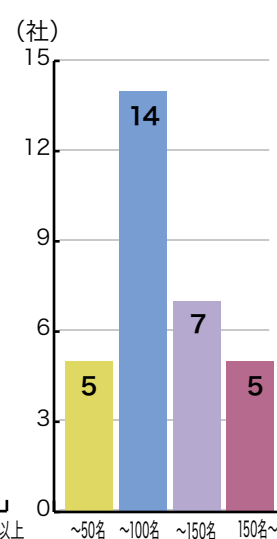
受講者の役職



受講者の年齢



現場実習受入企業の従業員数



● 申し込み・問合せ先

〒420-0853 静岡市葵区追手町 44-1

公益財団法人静岡県産業振興財団 経営革新支援チーム 担当: 佐藤、東

TEL 054-273-4432 E-mail keiei@ric-shizuoka.or.jp